

大学受験 現代文の核

評論で必須の抽象語・対概念



おうち受験

【1】近代・合理主義・普遍主義

📌 近代 (Modernity)

神中心の中世から離れ、**理性・科学・個人**を重視する時代。「合理性」を追求し、効率化や客観性を重んじる。現代文の多くの評論は、この「近代」への批判的な視点から書かれていることが多い。

🌐 普遍主義 (Universalism)

「いつでも、どこでも、誰にでも」当てはまる真理があるとする考え方。「相対主義」と対になる概念。近代科学や人権思想の根底にある考え方。

🧠 合理主義 (Rationalism)

感情や伝統よりも、**理性や論理**を判断の基準とする態度。無駄を省き、目的に対して最も効率的な手段を選ぶこと。



【2】対概念セット:基本の柱

用語 A	VS	用語 B	対立の軸
個人 (Individual) 独立した存在、自由	⇔	社会 (Society) 集団、拘束、ルール	帰属意識
自由 (Freedom) 束縛からの解放	⇔	共同体 (Community) 伝統的な結びつき	関係性
自然 (Nature) あるがまま、野生	⇔	人間 (Human) 作為、人工、文化	文明化
感性 (Sensibility) 直感、感情、身体	⇔	理性 (Reason) 論理、思考、精神	認識方法
物質 (Matter) 形あるもの、物体	⇔	精神 (Spirit) 心、意識、観念	存在形態



【2】対概念セット：認識と文化

用語 A	VS	用語 B	対立の軸
文化 (Culture) 精神的な価値、独自性	⇔	文明 (Civilization) 技術、物質的な利便性	発展の方向
個別 (Individual) 特殊、具体例	⇔	普遍 (Universal) 一般、法則	適用範囲
経験 (Experience) 直接的な体験、生	⇔	記号 (Sign/Symbol) 言葉による置き換え	現実への接触
主観 (Subjective) 私的な見方	⇔	客観 (Objective) 誰から見ても同じ	視点
現象 (Phenomenon) 表面に現れた様子	⇔	本質 (Essence) 隠された真実	深度



【3】構造主義・記号論・言語

構造主義 (Structuralism)

物事の意味は単独で存在するのではなく、全体の中の関係性（構造）によって決まるという考え。

記号 / シニフィアン (Sign)

言葉や文字など、意味を表すための媒体。

表象 (Representation)

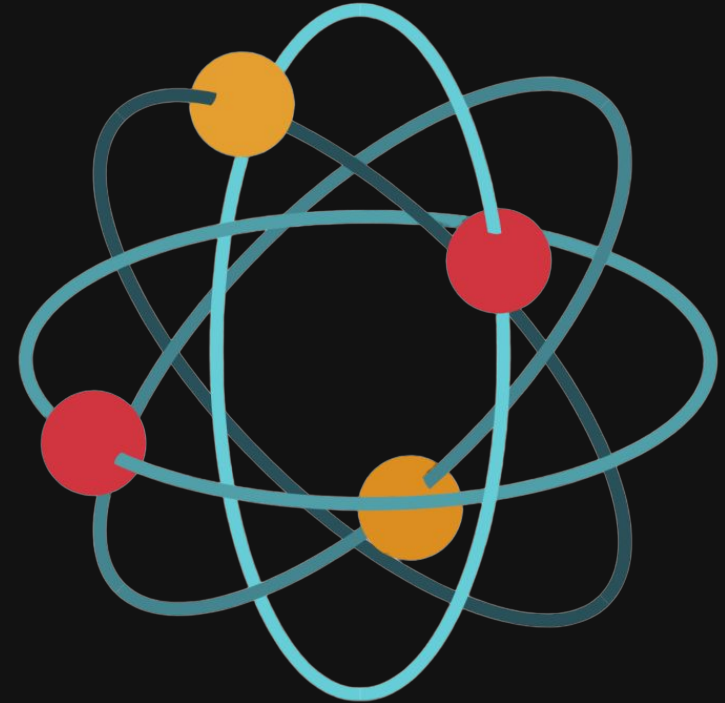
心の中に思い浮かべられたイメージ。または、何かを代理として表すこと。

差異 (Difference)

言葉の意味は、他の言葉との「違い」によって生じるということ。

コンテキスト (Context)

文脈。その事柄が成立している背景や状況。



【3】主体・社会・権力



主体性 (Subjectivity)

自らの意志で判断し、行動する性質。「客体（操作される側）」の対義語。近代における理想的な人間像。



間主観性 (Intersubjectivity)

自分（主観）と他人（主観）の間で共有される認識。完全に客観的ではないが、独りよがりでもない共通理解。



権力構造 (Power Structure)

目に見える強制力だけでなく、日常の「常識」や「規律」を通じて人々を無意識に支配する仕組み（フーコー的権力）。



疎外 (Alienation)

人間が作ったもの（システムや機械）に、逆に人間が支配され、人間らしさを失うこと。



【3】哲学・論理・本質

実存 (Existence)

「今、ここに生きている私」という具体的なあり方。本質（人間とは何か）よりも優先される。

相対主義 (Relativism)

絶対的な真理や価値を否定し、すべての価値は立場や文化によって異なるとする考え。

形而上 (Metaphysical)

形のないもの。思考や精神、本質など、感覚では捉えられない世界。

アイデンティティ (Identity)

自己同一性。「私は私である」という一貫した感覚や、帰属意識。

二項対立 (Binary Opposition)

世界を「善/悪」「男/女」のように二つの対立するカテゴリーで捉える思考枠組み。

パラダイム (Paradigm)

ある時代の科学や思考を支配している支配的な枠組みや常識。



【3】現代思想・方法論

🏗️ 構築主義 (Constructivism)

「事実」や「真理」は客観的に存在するのではなく、社会や言語によって**構築（作られた）**ものだとする考え方。ジェンダーや歴史認識などでよく使われる。

💡 脱構築 (Deconstruction)

既存の二項対立（優劣の構造）を内部から揺さぶり、解体すること。固定化された意味や序列を疑う現代思想の主要な手法。

現象学

主観的な意識のあり方を記述する哲学

因果連鎖

原因と結果の連続的なつながり

還元主義

複雑な事象を要素に分解して説明する



読解への応用

これらの抽象語は、単なる「単語」ではありません。筆者が世界を見るための「**レンズ**」です。

✓**対比を発見する**: 本文中で「近代」が出たら、必ず「前近代」や「ポストモダン」との対比を探す。

✓**言い換えに気づく**: 「記号」＝「言葉」＝「文化」＝「人間」というような、文脈による等式を見抜く。

